

NEWS LETTER



「1型糖尿病患児家族の交流会」を開催しました！

令和3年10月23日(土)、会津保健福祉事務所で、1型糖尿病患児家族の交流会を開催しました。

アドバイザーとして、たんぽぽの会・齋藤栄子氏とボランティアの方2名を招き、患児1名、保護者6名の方に参加していただきました。交流会では、新型コロナワクチンについて、通常時と低血糖時の空腹の感覚の違い、1型糖尿病のダイエット、成人してからの生活、1型糖尿病の医療保険・・・等、日頃の生活での悩みや情報を共有する機会となりました。



参加者の声「知りたいことを聞けて良かった」
「いろいろな悩みや情報が聞けた」



万全ですか？災害の備え

災害時、いつもと違う環境や食事、ストレス等で、血糖コントロールが難しくなることが予想されます。また、災害発生時には、インスリンの供給がストップするという事態もおきかねません。平時から十分な備えをしておくことは、災害に限らず、冠婚葬祭など急なイベントで、受診ができない状況でも役立ちます。

- インスリン（少なくとも1週間分）
- 穿刺針、穿刺器、ペン型注入器（注射器）、注射針
- 血糖測定器、電極（チップ）
- お薬手帳、糖尿病連携手帳
- 補食（ブドウ糖、砂糖など）
- 血糖測定器

／備えて安心／



【参考】災害時の対応：日本 IDDM ネットワーク

<https://japan-iddm.net/life-info/disasters/>

たんぽぽの会って？

たんぽぽの会とは、県北地方を中心に活動している、1型糖尿病家族会です。代表の齋藤栄子氏は、自身のお子さんが2歳の時に、1型糖尿病を発症。その後、平成16年3月にたんぽぽの会を発足されました。たんぽぽの会では、交流会や勉強会等、精力的に活動されています。

【お問い合わせ】

会津保健福祉事務所 児童家庭支援チーム

TEL 0242-29-5278 FAX0242-29-5289